

油汚れ専用洗剤 イシクリーンシリーズ

鉱油用洗剤 オイルゲッター

【特徴・用途】

石材・タイル・コンクリートなどに染み込んだ油の汚れを溶け出させて除去します。

油の種類により使い分けます。

『オイルゲッター』は機械油、エンジンオイルなどの鉱油系、

『アブラリムーバー』は動植物油の汚染に対応します。

内部に染み込んだ頑固なシミも湿布剤『ネンドル』と併用します。

鉱油用洗淨剤『オイルゲッター』

【目的】

- 石材に染み込んだ機械油、エンジンオイル、コーキング材のシミの除去

【使用前の注意】

- 第4類第2石油類相当の危険品です。火気には十分に気を付けて下さい。
- 使用時は常に換気をよくしておき、ゴム手袋を着用して下さい。また、液に直接顔を近づけないようにして下さい。
- 天然石材以外の素材に使用すると艶落ち等の影響を及ぼすことがありますので、施工前に必ずテスト確認を行なって下さい。
- 内部に染み込んだ頑固なシミは湿布剤『ネンドル』と併用すると効果的です

【使用方法】

① ブラッシング方法（軽度の汚染）

- ・ オイルゲッター原液をシミの上に液だまりができる程度に塗布します。
- ・ 5～6分放置後、柔らかいもので表面をブラッシングして下さい。
- ・ そのまま30分ほど放置しておきます。液の自然乾燥と同時にシミが除去されます。

② 湿布方法

ネンドル工法を御参照ください。

ネンドル湿布吸着工法

素材内部に染みこみ塗布、ブラッシングだけでは落ちない頑固なシミの場合は湿布剤『ネンドル』を併用することにより除去できます。

【使用方法】

● 湿布方法

- ① オイルゲッター（もしくはアブラリムーバー）とネンドル（湿布剤）を混合しよく練り合わせます ⇒ ともに原液を使用します。

混合割合は 容量比で

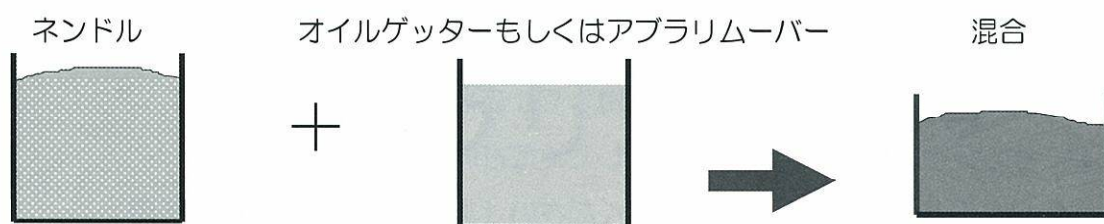
オイルゲッター（もしくはアブラリムーバー）1：ネンドル0.8～1です。

（耳たぶ程度の柔らかさです。重量比は下記の表を御参照ください）

- ② 練り合わせた物を除去したい部分が完全に、覆われるように貼り付けます。
厚みは2～3mm程度になるようにして下さい。
さらに洗浄剤が乾燥しないように、ポリエチレンフィルム（ラップ）等で覆って下さい。
- ③ この状態で3～12時間そのまま放置し、養生後ネンドルを取り除き、石材を傷めない用充分に水洗いして下さい。

※ 養生時間は汚染具合により異なります。

養生後ポリエチレンフィルム（ラップ）を剥がし、ネンドルが乾燥するまで放置してから取り除くと効果が上がります。



混合した後2～3mm程度に貼り付け、上からラップします
この状態で放置します。
放置後、ポリエチレンフィルムを取り、ネンドルが乾燥するまで放置後、水洗いするとさらに効果的です。

【1㎡あたりの使用量】（目安）

汚染物	品名	容量	重量
機械油 コーキングの シミ	オイルゲッター	1.55L	—
	ネンドル	—	0.66Kg
動植物油	アブラリムーバー	1.55L	1.7Kg
	ネンドル	—	0.66Kg

【ネンドル1Kgに対して】

使用量目安
2.35L
1Kg
2.6Kg
1Kg

※湿布の厚みによって異なりますので目安としてください。

※ネンドルの代わりにウェスなどで湿布する方法があります。この場合もウェスが乾燥しないようポリエチレンフィルム（ラップ）等で覆ってください。

【性 状】

	オイルゲッター
外 観	無色透明液体
溶 剤	第4類第2石油類 非水溶性
取り扱い	火気厳禁
引火点	41℃
比 重	0.73
荷 姿	1L入り（角缶）×10 4L入り（角缶）×4

【取扱い上の注意】

1. 直接手に触れないよう、ゴム手袋を着用してください。
2. 必要に応じ保護メガネ、保護衣を着用してください。
3. 水以外のものとは絶対に混合しないでください（オイルゲッターは原液使用）。
4. 保管については、必ず冷暗所で密閉保管してください。
5. 屋内で使用する場合は必ず換気を十分におこなってください。
6. 使用上の注意や保管方法の詳細につきましては、製品安全データシート（MSDS）を御参照ください。



紺商株式会社

〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8

C&Cグループ直通／Tel. (0258) 32-4453

Tel. (0258) 32-4411(代) Fax. (0258) 32-4669

URL <http://www.konsho.co.jp>